

残しておきたいキャンパス風景 第三十二回

「吉田神社」今宮社」神幸祭」



▲当日は雨だったので、神輿用のカッパをつけて担ぎました。

コロナ禍中は自粛されていた神輿担ぎが4年ぶりに行われ、京大生協からも専務・常務・理事会室長、そして学生委員会のメンバーが神輿の担ぎ手として参加しました。各地で力水などの差し入れもいただきながら、地域の安全と繁栄を祈念して巡行しました。担ぎ手が減ってきているのが悩みのタネです。来年は皆さまもぜひ一緒に担ぎませんか？

大学のホームページにも報告されています。



新年のご挨拶

京都大学生協 専務理事 國見 伸行

新年あけましておめでとうございます。

2023年の5月以降、行動制限がなくなったことで人々の動きはコロナ禍前に戻ってきました。生協店舗のご利用も、コロナ禍前と同じとまではいきませんが、多くの組合員の皆様に日々ご利用いただいております。ありがとうございます。

利用が回復してきたことで、ひとことカードで組合員の皆様からのご要望をいただく事が多くなりました。感謝のメッセージもあれば、不満やクレームもあります。これらはひとえに、生協にご期待いただいていることの表れと受け止め、組合員の皆様のご要望に一つずつ応えていく事で「生協があってよかった」と思っていただけ組織にしていきたいと思っております。

今後とも京大生協をどうぞよろしく願いいたします。



西部会館ルネ・キャリア&トラベル (外線) 771-6289 (内線) 7639	吉田ショップ 752-1587 7632	北部購買 753-7633 7633	南部生協会館 752-1586 7635	時計台生協ショップ 753-7630 7630	宇治生協会館 0774-38-4388 17-4388	桂ショップ 383-7300 15-7300
ブックセンタールネ 771-7336 7631	洋書 751-6183 7631	PCセンタールネ 753-7636 7636	コンベンションサービスセンター 753-7655 7655			

おうばく秋祭り

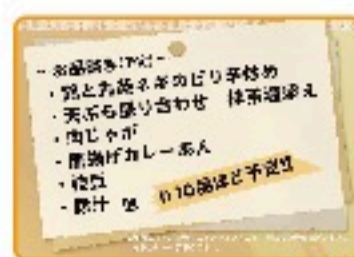
10月27日（金）に宇治食堂で開催された、「おうばく秋祭り」をご紹介します。
7月に開催された桂ピア祭りに続き、こちらも4年ぶりの開催となりました。

当日の案内

コロナ前は、食堂の出食レーンとは別にホール内にお祭りメニューの提供場所を設営して提供していました。コンパの機材を使って唐揚げやポテトフライ、電気鉄板をレンタルして、ホール内でステーキを焼いて提供したこともありました。

今年は宇治食堂の出食レーンを使用し、通常提供メニューをお祭り特別メニューとし、ライスや豚汁以外はこの日だけの限定メニューが並びました。

当日は宇治食堂の夕食営業をお祭りとし、宇治食堂内で秋まつりを開催しました。



ポスターとお品書き

準備の様子



メニューを調理する食堂スタッフ



くじ引きの景品を並べ準備をするスタッフ
（写真が景品の一覧です）



メガネが湯気で真っ白になりながら作業指示する辻店長

おうばく秋祭り

開店直前・直後は・・・

当日は、17時過ぎからの雨予報がびたりと的中してしまいました。外は小雨がシトシト、金曜の夜は普段もあまり利用が多くないこと、さらに宣伝はポスター1枚を宇治生協会館に掲示していたのみ(!)だったこともあり、本当に来てもらえるのかと、心配しながらスタッフ一同準備を進めていました。

気が付くと開店時刻の17時30分を回っており、不穏な空気が漂うなか、最初のお客様がご来店しました。



お客様をお出迎えする松浦常務理事

開店後の様子

宇治キャンパス運営委員長の浅野先生や京大生協で教職員理事を務めていただいている今山さんにもご参加いただきました。

宇治キャンパス運営委員会にも参加いただいている政所院生理事は総長カレーを引き当てておりました。



唐揚げカレーあん
300円



鶏と九条ネギのピリ辛炒め
300円



天ぷら盛り合わせ (抹茶塩添え)
300円



枝豆
110円



ネギ盛り塩だれ豆腐
110円

当日提供メニュー (一部です)

店長からのコメント



辻店長

久しぶりの開催という事でどれくらいのお客様に来て頂けるか予測が付きなかつたですが、実際は普段の食堂営業の3倍程のご来店があり、大盛況でした(抽選会も大盛り上がり)。今回の内容も踏まえて、次回は更に良いイベントに出来ればと思っています。

北部祭典

今年の北部祭典で、農学部出身の小説家、森見登美彦先生の講演があり、先生直筆のサイン本の販売を京大生協がさせていただきました。北部祭典の様子と合わせてご紹介します。

入場口の北部南門にたどり着くと、森見先生を彷彿とさせる看板が！
森見先生の講演に参加するには、整理券が必要とのこと。さっそく整理券をもらいに行こうとすると・・・



門を入ってすぐの運営本部で整理券を配布していたのですが、たどり着いたときにはもうすでに配布は終了していました・・・残念！

仕方がないので、少しだけ北部祭典を見て回ることにしました。

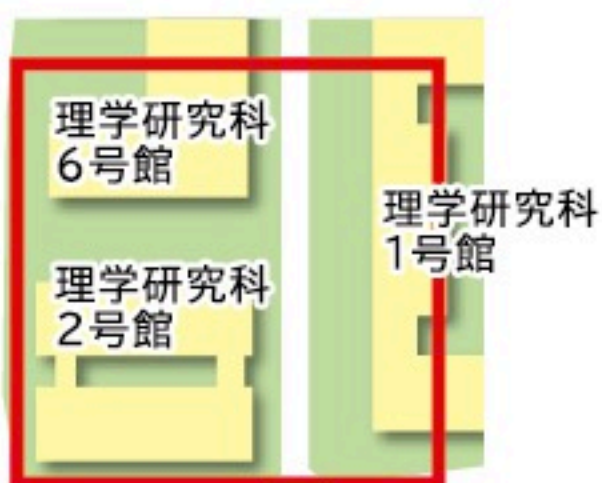


北部構内南門



いつもの銀杏並木が、各団体のテントとお客さんで大賑わい
です！

6号館のピロティはイートイン
スペース(?)になっていま
した。



北部構内南門

北部祭典はこの範囲で行われました。



人波かき分け歩いていると「何か黄色いあとのついたお皿
を持っている人が多いな・・・」とっていると、京大カレー
部も出店していました。

北部祭典



農学研究科の森林利用学研究室です。

こちらの研究室の檀浦正子先生と協力し、脱プラの取り組みの一環として、北部食堂で12月より竹箸導入をスタートします。京大生協の理事会や店長会議では、マイクロプラスチック問題について理解を深めるべく、研究室の皆さんにプレゼンもしていただきました。

食器洗浄機・乾燥機にどのくらい耐えられるのか？カビ等の衛生面はクリアできるのか？など課題解決に取り組んでまいります。組合員の皆さまも北部食堂をご利用いただいた際には、竹箸を利用した感想をぜひお寄せください。



森林利用学研究室の、竹箸プロジェクトのインスタです。

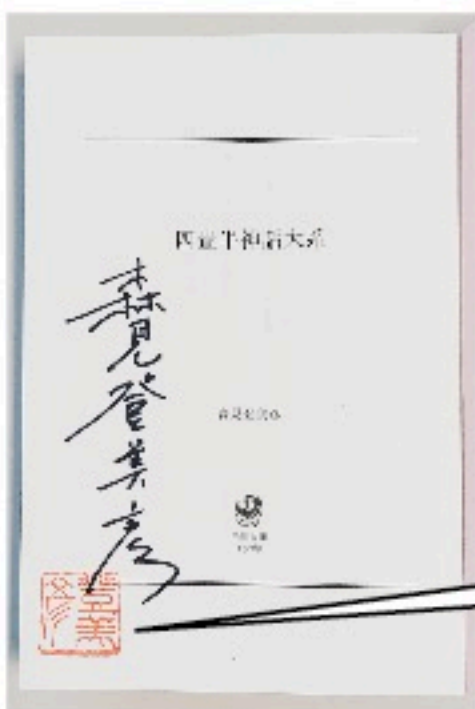


会場は満員!!



講演会場の6号館入り口付近には、大勢の方がいました。1階では、整理券が必要な旨のアナウンスも。会場は満員で、外から見ていても「まだか・・・まだか・・・」という心の声が聞こえてくるようでした。

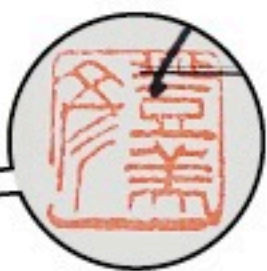
う心の声が聞こえてくるようでした。



ルネで保管してあった、森見先生の直筆のサインです。当日は会場の混雑が十分に予想されたので、講演会会場で販売予定の100冊は、あらかじめルネでサインを書いてもらっていました。写真ではありますが、どうぞご堪能ください。

サインをいただいたのは、「太陽の塔」に続く2作目の「四畳半神話大系」です。「登美彦」の角印も押してあるが分かりますでしょうか？森見先生のサインでは

ダルマのスタンプをよく見かける印象ですが、今回は角印でした。どのように使い分けているのか、誰か知っていたら教えてください。実は、ルネ用にも少しだけ書いてもらったとか、書いてもらっていないとか・・・




No Image



大変申し訳ありません、サイン本の販売会場は非常に混雑・飛ぶように売れてしまい、写真を撮る暇がないほどでした。

おまけ

森見先生とルネ書籍スタッフの記念写真





ホームカミングデイ

万城目学先生の著作本即売会と、
湊総長監修特別ランチメニュー「京の和風オイルパスタ」

万城目学先生の著作本即売会

ホームカミングデイのリアル開催企画で、京大法学部OBの小説家、万城目学先生が、時計台百周年記念ホールで講演をされました。時計台に入ってすぐ左手にある京大ショップにて、著作本の即売会（サイン券付き）を実施しました。およそ200冊を用意しましたが、あっという間に完売してしまいました。



大混雑する京大ショップ



湊総長監修特別ランチメニュー「京の和風オイルパスタ」

昨年ホームカミングデイの日に提供し、大好評だった湊総長特別監修のパスタ。今年も期間限定で、カンフォーラにて提供しました。

おまけ 1

当日はスタンプラリーと、「みんなで作る思い出のアルバム」というオンラインとリアルの融合イベントも行われていました。みんなで作る思い出のアルバムは、スタンプラリー（リアル）のコースに設置されたQRコードの指示に従って自撮りなどの写真を投稿（オンライン）してアルバムを作っていく、というイベントでした。



おまけ 2

あまり公開されることはありませんが、ホームカミングデイ当日は、尊攘堂が公開されていました。中に入ると、資料の解説もしてくれました。

普段は外観しか見ることがないので、何の建物なんだろう？と思う方も多いのではないのでしょうか？【京大の



「実は！」Vol.38】で詳しく紹介されていますので、ぜひご覧ください。



京大の「実は！」
Vol.38

京大俳句会 休会のお知らせ

平成21年(2009)1月に発足しました第4次京大俳句会は、様々な俳句活動を学内外で展開して来ましたが、この1月で15周年を迎えることになりました。本会は、これを一つの区切りとして3月末に休会することにいたしました。本会に参加・投句くださった方や、長年にわたりこれを支援くださった京大生活協同組合の関係者の方々に感謝申し上げます。

なお会誌「京大俳句・自由船」の最終刊(総集編)を3月中に発行予定しております。

ブログ京大俳句「自由船」:<https://blog.goo.ne.jp/jiyuu-sen>

京大俳句会事務局

最近の句会作品紹介

168回

祖母の雛満洲國の番地あり 松林游々子

171回

ははそはの妣よ鎌持ち麦の秋 堀本 吟

175回

説法に直立不動秋灯 奥村つよし

177回

熱殺の蜂玉に見るプーチンの誤算 清水楽蜂

編集後記

女の子は父親に似る、男の子は母親に似る、と言われます(学術的な根拠があるのかは分かりませんが)、私も子供の頃、母親とそっくりだとよく言われました。娘もだんだん私に似てきて、大人になって私のような顔になったら申し訳ないなあ…と思っています。



他の子たちは順番が来るまでちゃんと座っているのに…

人見知りな性格も似たのか、知らない人がたくさんいると「おうち帰りたい」と言ったりするのですが、先日そんな娘の意外な一面を見せられました。

保育園の生活発表会で「大きなカブ」をやったのですが、開始早々、大きな笑い声をあげて教室内を一人で走り回り跳ね回り、観客側に近づくとこちら向かって「お父さん!お母さん!やっほー!」

「うんどこしょ、どっこいしょ」には最後まで加わらず、そのくせ「まだまだカブは抜けません」は、大きな声で、やや被せ気味に、観客席に向かって「教えてあげるよ」と言わんばかりの口調で説明する始末。

お昼からはケチャマヨ体操(皆さんご存じですか?)に勤しんでお昼寝をしなかったのも、その日の晩ご飯は、オクラのお浸しとお肉(ケチャマヨ炒め)、納豆かけごはん、娘の好きなものを用意してお腹いっぱい、19時前にはご就寝されました。



(関野博之生)

この春に定年退職を迎える方へ 京都大学での思い出ご寄稿のお願い

お近くにおられましたら、ぜひお声かけください。

京大生協教職員委員会では、昨年に引き続き教職員情報3月号を、退職される教員・職員の皆さまからの「京都大学での思い出」などのご寄稿による特別号として編集したいと思っております。

教員の方、職員の方、研究員の方、どなたでも構いません。パーティーや最終講義などでお配りいただけるよう、冊子ご希望の部数を承ります。

写真だけでも、ひとことだけでも構いませんので、多くの方にご寄稿いただけましたら幸いです。

ご寄稿の形態

写真、メッセージ（長短も問いません）、ご寄稿文（最大で2000字程度まで）など、なんでも構いません。皆様からお寄せいただいたもので、編集をいたします。

内容

京都大学での思い出や、記憶に強く残っているできごと、退職されるにあたって思うこと、研究にかけた情熱、生協に対して思うことなど、内容についても指定はありません。皆様からお寄せいただいた思い出で、編集をいたします。

ご寄稿について

編集の都合上大変恐縮ですが、締切がございます。

ご寄稿のお申し出：2024年2月2日(金)

※下記連絡先までご一報ください。

原稿のご提出：2024年2月9日(金)

※写真やメッセージなどデータでいただける場合は、メール添付等でご提出をお願いしております。
※それ以外のご寄稿については、ご一報いただいた際にご相談させていただきましたら幸いです。

<ご寄稿についての連絡先>

メール：ku-seikyo@univ.coop TEL：075-753-7640
京大大学生活協同組合 理事会室 関野 博之生

お近くに定年退職を迎える方がおられましたら、ぜひご寄稿のお声掛けをお願いいたします。